

第42回京都府高等学校総合文化祭

放送部門 実施要項

1 開催日時 令和7年11月2日(日)

2 会場 京都文教大学 〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足80

3 参加資格

(1) 参加資格は、京都府高等学校文化連盟加盟校に在学する1・2年生の生徒およびグループ(団体)とします。

(2) 発表として、「アナウンス小部門」(2年生対象・全国総文予選)、「アナウンス小部門新人戦」(1年生対象・近畿総文予選)、「朗読小部門」(2年生対象・全国総文予選)、「朗読小部門新人戦」(1年生対象・近畿総文予選)、「ビデオメッセージ(以下VM)小部門」、「オーディオメッセージ(以下AM)小部門」を設けます。「アナウンス小部門」「朗読小部門」(新人戦も含む)の両部門に同一生徒がエントリーすることはできません。「VM小部門」「AM小部門」の本数は各校それぞれ1作品までとします。

(3) 参加生徒の氏名及び画像等個人情報をプログラム、記録集及びホームページ等に掲載し公開することがあるので、提出書類作成にあたって本人の了解を得てください。

4 参加申込

参加申し込みは様式1を、電子データ(ExcelとPDF)で提出して頂きます。参加校は放送専門部HP(<https://hsbkyoto.stars.ne.jp/>)からExcelの入力用書式(様式1)をダウンロードしていただいた上で、入力データを9月1日(月)～9月5日(金)19時に部門事務局参加受付 kyotohsb@gmail.com および s_amano@higashiyama.ed.jp (不達防止のため、両アドレスへお願い致します)宛に電子メールに添付する形でお送りください。受付後2日以内に、送信元に確認のメールを送ります。プログラムや名札等は様式1のデータをもとに作成しますので、外字は使用されないようお願い致します。外字を使用する氏名については、それに近い漢字で代替してください。

また、様式1を印字して校印を押印したものをスキャンしたPDFファイルを9月1日(月)～9月5日(金)19時にメール添付で送信してください。原本は各校で保管してください。郵送して頂く必要はありません。

Excel、PDFとも、ファイル名を「R07〇〇高校様式1」としてください。

5 作品規定〔規定に違反があった場合、失格の対象となります。〕

(1) 「アナウンス小部門」(新人戦も含む)

(ア) 郷土(他府県から見た地元京都)の話題(校内の域にとどまっている話題は不可とします)を全国の高校生に伝える内容の原稿を作り、発表してください。原稿は、自らが新たに作成したものとします。本人が作成した原稿であっても過去に京都府高等学校総合文化祭(以下「京総文」)で使用了原稿を流用することは不可とします。

(イ) 発表は、番号、学校名、氏名に続いて原稿を読むものとします。学校名については、正式名称・略称のどちらでも可とします。

(ウ) 発表時間は、学校名、氏名を含めて1分10秒～1分30秒とします。

(エ) 全国総文ではタイトルが必要になりますので、原稿提出時にはタイトルも記載してください。ただし、タイトルは読まないでください。全国総文でもタイトルはプログラムに掲載されるだけで、タイトルを読むことはありません。

(2) 「朗読小部門」(新人戦も含む)

(ア) 次の5作品の中から、原文のままを一部選んで原稿としてください。

- ①「不如帰」 徳富蘆花
- ②「捨ててこそ空也」 梓澤要
- ③「鴨川ランナー」 グレゴリー・ケズナジャット
- ④「竹林と美女」 森見登美彦
- ⑤「雨月物語『白峯』」 上田秋成

＜ビギナーズ・クラシックス日本の古典（角川ソフィア文庫）＞

※⑤以外は出版社は問いません。

※⑤の原稿データへの記入や発表時の読みは「雨月物語」とします。

※①の作品名は「小説不如帰」などの表記もありますが、「不如帰」とします。

読みは「ほととぎす」とします。

※①～④の表題で複数作品が収録された出版物がある場合、表題の作品のみを課題図書とします。

(イ) 発表は、番号、学校名、氏名、作者名、作品名に続いて原稿を読むものとします。学校名については、正式名称・略称のどちらでも可とします。

(ウ) 発表時間についてご注意ください。

・京総文においては本文を読み始めたところから計時を行い、読み終わりまでの時間を1分15秒～1分45秒とします。番号、学校名、氏名、作者名、作品名は計時しませんが審査の対象とします。

・全総文に出場となった場合は、番号、学校名、氏名、作者名、作品名は読まずに(これらの情報はプロジェクターに投影されます)、本文のみを読むものとし、時間は1分45秒以内とします。

(3) 「VM小部門」

郷土(他府県から見た地元京都)に関する話題(校内の域にとどまっている話題は不可とします)を取り上げた、全国の高校生に伝える内容の動画作品とします。時間は4分30秒以内となります。ドキュメンタリー形式・ドラマ形式など、内容・手法は問いません。ドラマ形式の場合は、出演者は自校生徒に限るものとします。

(4) 「AM小部門」

郷土(他府県から見た地元京都)に関する話題(校内の域にとどまっている話題は不可とします)を取り上げた、全国の高校生に伝える内容の音声作品とします。時間は4分以内となります。ドキュメンタリー形式・ドラマ形式など、内容・手法

は問いません。ドラマ形式の場合は、出演者は自校生徒に限るものとします。

6 表彰等

(1) 上位入賞者(校)は、下記の大会の推薦候補となります。

(ア) 令和8年度全国総文秋田大会推薦対象

- ・アナウンス、朗読小部門各上位3名
- ・VM小部門上位2作品
- ・AM小部門上位1作品

(イ) 令和8年度近畿総文兵庫大会推薦対象

- ・アナウンス、朗読小部門各新人戦上位2名 ※次年度開催府県のため3名
- ・VM小部門2作品(第3・4位作品) ※次年度開催府県のため3作品(第3～5位)

(ウ) 上位大会に出場される際は、番組・アナウンスについては最低限度の手直しを可としますが、朗読については同じ原稿を読むものとします。なお、近畿総文出場のビデオメッセージ作品については、近畿総文の規程時間(5分以内)にする手直しを可とします。

(2) アナウンス小部門・同新人戦・朗読小部門上位者は、下記の司会等をご担当いただく予定です。京総文終了後、個別に依頼をいたします。

(ア) アナウンス小部門上位者4名：令和7年12月20日(土)・21日(日)に実施される全国高等学校駅伝競走大会の開会式および閉会式の司会進行(開会式2名・閉会式2名)

(イ) アナウンス小部門新人戦上位者2名：令和7年12月14日(日)に実施される、京都府高等学校文化連盟優秀校表彰式の司会進行

(ウ) 朗読小部門上位者2名：令和7年12月14日(日)に実施される、全国高校生伝統文化フェスティバルー伝統芸能選抜公演一の司会進行(12月13日(土)にリハーサル有り)

(3) 連盟賞

令和7年12月14日(日)の京都府高等学校文化連盟優秀校表彰式で表彰される連盟賞の受賞対象は、アナウンス小部門、朗読小部門、VM小部門、AM小部門の4部門の最優秀受賞者(校)とします。新人戦は含みません。

(3) 古典の日推進委員会特別賞

朗読小部門(新人戦を含む)において、古典作品での優れた発表に対し、古典の日推進委員会より授与されます。

7 運営補助

参加校の先生方には当日の運営を担当頂くこととなります。参加申込み後、業務内容について文面でお知らせいたします。業務の詳細は参加当日の朝に御説明いたします。

8 提出規格および提出締切

(1) VM・AM

(ア) 完成作品

VMはテストパターン無しの動画ファイルのデータを、AMは音声ファイルのデータを御提出ください(VMの全国総文提出時はテストパターンが必要となります)。VMの提出はファイル交換サーバ等をご利用ください。AMはメール添付でも結構です。動画ファイルはMP4(H.264コーデック、アスペクト比16:9)で、音声ファイルはMP3で御提出頂き、ファイル名は部門名(VM、AM)+学校名+「タイトル」としてください。

例：嵐山高校のVM作品「京の景観」の場合→VM嵐山「京の景観」.MP4
 〆切は、**10月14日(火)19時**とします。

(イ) 様式2(著作権処理)

様式2を放送専門部ホームページよりダウンロードし、著作権処理についてVM、AMそれぞれ1枚ずつ記載して作品〆切までにメール送信してください。ファイル名は「R07〇〇高校様式2」としててください。関係書類の提出は不要ですが、NHK杯に準じる権利処理を行っておいてください。全国総文・近畿総文で提出を求められる場合がありますので、書類は必ず保管しておいてください。

(2) アナウンス・朗読小部門原稿(ともに新人戦を含む)

アナウンス・朗読とも原稿をExcelデータで、メールにて提出ください。A列は予選番号、B列は決勝番号、C列は学校名、D列は氏名、E列は、アナウンスはタイトルを(読みません)を、朗読は作者名+書名を、F列は原稿を入力してください(下のサンプルを参考にしてください)。

なお、朗読で原本にふりがながある場合、下の「羅生門」のサンプルのようにカッコ内にふりがなを記載して下さい。

ファイル名は「R07〇〇高校原稿」とし、〆切は**10月14日(火)19時**とします。

	A	B	C	D	E	F
1	AK107	AK22	京都高等学校	赤城三平	葵プロジェクト	初夏の京都を華やかな行列が彩る葵祭。京都三大祭の一つであるこの祭を支えているのは、葵プロジェクトです。
2	AZ211	AZ05	京都高等学校	桃江あきら	インクで伝統色を	濡羽色、青鈍色、萌黄色に山吹色。これらの平安時代から伝わる和の色が万年筆のインクに再現されました。開宰したのは、京都の文具メーカー。タグ手段を選んでいる連(いとま)はない。選んでいれば、築土(ついに)の下か、道ばたの土の上で、餓死(うへじに)をするばかりである。そうして、この門の「写真を撮ると寿命がない」と言われていた時代であったので、父の面影を伝えるものは何ひとつとてない。しかし私は父にとっても似
3	RK302	RK02	京都高等学校	青梅小五郎	芥川龍之介「羅生門」	
4	RZ415	RZ32	京都高等学校	緑山純	上村松園「あのころ一幼ものがたり」	

9 班分け、発表順について

アナウンス、朗読の各校の発表班への人数割りは事務局が行います。発表順(予選および決勝)はくじを引いて頂くこととなりますが詳細は後日お知らせ致します。

10 部門事務局

〒606-8445 京都市左京区永観堂町51 東山高等学校内

京都府高文連放送専門部委員長 天野俊次(あまのしゅんじ)

TEL 075-771-9121 FAX 075-771-7217

E-mail: s_amano@higashiyama.ed.jp 及び kyotohsb@gmail.com